

【1 分解説】ウェルビーイング学会とは？

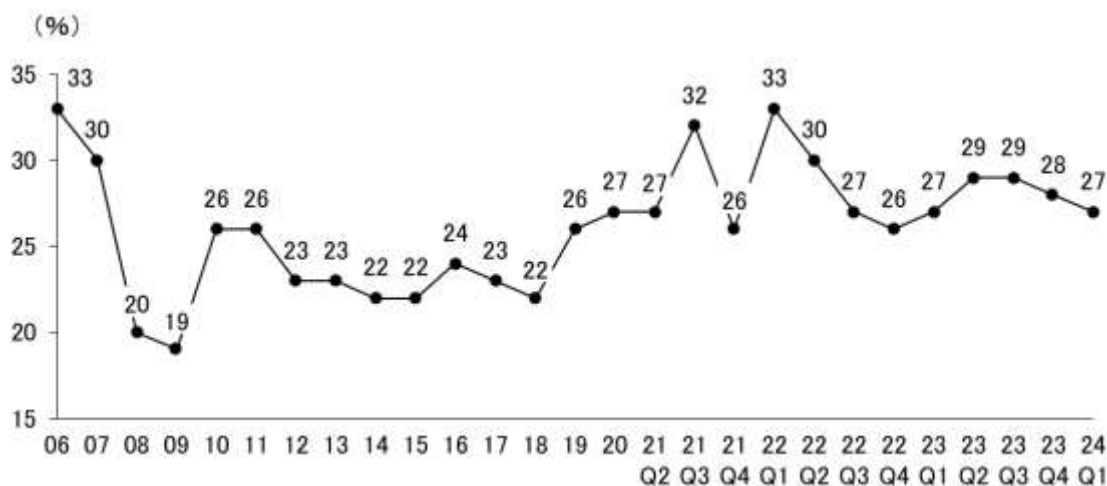
総合調査部 研究理事 村上 隆晃

ウェルビーイング学会とは、ウェルビーイングに関する研究結果の公開や学術集会の開催などを通じて、分野横断的なウェルビーイング研究の進化と交流を推進していくことを目的として2021年に設立された学会です。2022年9月、2024年7月にはその成果として、ウェルビーイングレポート日本版2022、同2024（1、2）を発行しています。

さらにウェルビーイング学会は、国内におけるウェルビーイング（生活の豊かさ）実感の推移とその変動要因をGDPと同じく四半期で把握し、国や地方自治体の政策や企業の戦略などに活用してもらえるよう、日本版Well-being Initiative、Global Wellbeing Initiativeの協力を得て、世界で初めて「四半期毎ウェルビーイング実態調査」を2021年第2四半期（4～6月期）以降公表しています（資料）。

2024年には同学会の傘下にファイナンシャル・ウェルビーイング分科会が設けられました。同分科会では、心身の健康と並んで人々のウェルビーイングを支えるお金の面のウェルビーイングに関する研究を深め、ファイナンシャル・ウェルビーイングの概念やその意義、具体的な取り組み策などに関する「提言」を策定・発信することを目指しており、その動向が注目されます。

資料 日本におけるウェルビーイング実感が高い人の割合の推移



（出所）Global Wellbeing Initiative「四半期毎ウェルビーイング実態調査（2024年第1四半期）」（調査機関：Gallup 社）より第一生命経済研究所作成

(注)ギャラップ社は、最悪の人生を「0」、最も理想的な人生を「10」とする「キャントリルの階梯」を用いて、人々が現在の生活と5年後の生活をどう評価しているか調査している。現在の生活評価が7以上で将来の生活評価が8以上の回答者を「ウェルビーイング実感が高い」(thriving)として分類している。

Global Wellbeing Initiative は Well-being 分野における、世界各地の研究者・技術者・国際機関の関係者などで形成されたコミュニティを指す。

関連レポート

- ・「ウェルビーイング実感の四半期調査に見るファイナンシャル・ウェルビーイングと賃上げの重要性」(2024 年 1 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/316059.html>
- ・「ここが知りたい『お金の安心感と豊かな人生の選択肢をもたらすファイナンシャル・ウェルビーイング』」(2024 年 1 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/312208.html>
- ・「国民のファイナンシャル・ウェルビーイング向上に向けて(前編)～実際の年収増以上に経済的ゆとり感引き上げが効果的～」(2023 年 12 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/297962.html>
- ・「国民のファイナンシャル・ウェルビーイング向上に向けて(後編)～ライフデザインと金融リテラシーが鍵～」(2023 年 12 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/297965.html>